

<b>授業科目</b> 質的研究方法論	<b>科目概要・形式</b> 1 単位 15 時間 選択	<b>配当年次</b> 1 年 後期
<b>科目責任者</b>	佐藤 愛	
<b>担当者</b>	佐藤 愛、鳴井 ひろみ、大川 貴子	
<b>1. 科目のねらい・目標</b> (ねらい) 質的アプローチを用いた研究の目的、方法、分析方法を理解し、批判的吟味ができる能力を養う。 (目標) 1) 質的研究の特徴を理解する。 2) 代表的な方法論について理解する。 3) 研究疑問・研究課題の追究に適した方法論の選択について理解する。		
<b>2. 授業計画・内容</b> <b>【佐藤 愛】 (3 コマ)</b> 1) 質的研究の特質 質的看護研究を行う意義、質的研究における対象の選択、データ収集、倫理的問題 2) 現象学的アプローチによる方法と分析  <b>【鳴井 ひろみ】 (2 コマ)</b> 1) 質的帰納的研究による方法と分析  <b>【大川 貴子】 (2 コマ)</b> 1) Grounded Theory Approach による方法と分析		
<b>3. 教科書、参考書</b> (参考書) ・ホロウェイ・ウィーラー著 / 野口美和子監訳：ナースのための質的看護研究入門，第 2 版，医学書院，2006 . ISBN : 978-4260002264  ・松葉祥一・西村ユミ編：現象学的看護研究 理論と分析の実際，医学書院，2014 . ISBN : 978-4-260-02048-0  ・トーマス・ポリオ著 / 川原由佳里監修：患者の声を聞く 現象学的アプローチによる看護の研究と実践，エルゼビア・ジャパン，2006 . ISBN : 4-86034-874-5  その他、講義の中で紹介する。		
<b>4. 成績評価方法</b> 課題のプレゼンテーションおよび参加態度、レポートにより評価する。		
<b>5. 受講要件</b> なし		
<b>6. 社会人学生に対する配慮</b>		
<b>7. その他</b>		